



## 慶應義塾大学ビジネス・スクール

# 原価計算の基礎知識

5

### ■溝ノ口工業株式会社

溝ノ口工業株式会社は、東京急行電鉄田園都市線・溝の口駅近くにある製造業企業である。同社では、金属を加工して、3種類の製品（X・Y・Z）を製造している。また、同社は完全受注生産をおこなっており、材料、製品ともに在庫を保有せず、製品は完成後ただちに出荷される。

10

### 問題 1

溝ノ口工業株式会社は、月次で損益管理を行なっている。当月の製造・販売数量は、以下の通りであった。

15

製品品種	製品 X	製品 Y	製品 Z
製造・販売数量（個）	1,500	1,200	400

また、製品 1 個当たりの販売単価、直接材料費、および作業時間に関するデータは以下の通りである。なお、直接工の賃率は 1 直接作業時間当たり 2.5 千円である。

20

製品品種	製品 X	製品 Y	製品 Z
単価（円）	5,200	7,500	14,000
直接材料費（円）	1,450	1,600	2,100
直接作業時間（時間）	0.3	0.5	1.0
機械作業時間（時間）	0.8	0.6	1.2

25

このケースは、慶應義塾大学ビジネス・スクール専任講師 木村太一が、原価計算の演習問題として作成した。ケース中の企業は架空のものである。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話 045-564-2444、e-mail:case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/> へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright © 木村太一（2020年2月作成、2023年2月改訂）